

製品名: KLKB1 (6P10) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13077**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100
分子量	71kDa

抗原情報

遺伝子名	KLKB1
別名	Fletcher factor; kallikrein B plasma; Kallikrein B1; Kininogenin; KLK3; KLKB1; PKK; PKKD; Plasma kallikrein light chain; PPK; Prekallikrein;
遺伝子 ID	3818.0
SwissProt ID	P03952
免疫原	ヒト KLKB1 の合成ペプチド

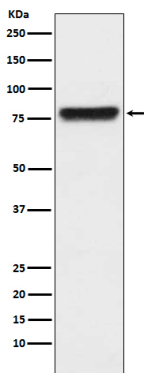
背景

この酵素は、Lys-Arg および Arg-Ser 結合を切断します。この酵素は、負に帯電した表面に結合した後、相互反応により第 XII 因子を活性化します。また、高分子量キノーゲンからブラジキニンを遊離し、プロレニンをレニンに変換することでレニン-アンジオテンシン系において役割を果たす可能性があります。この酵素は、Lys-Arg および Arg-Ser 結合を切断します。この酵素は、負に帯電した表面に結合した後、相互反応により第 XII 因子を活性化します。また、高分子量キノーゲンからブラジキニンを遊離し、プロレニンをレニンに変換することでレニン-アンジオテンシン系において役割を果たす可能性があります。

研究分野

補体と凝固カスケード;

画像データ



ヒト血漿溶解物中の KLKB1 発現のウェスタンブロット分析。